



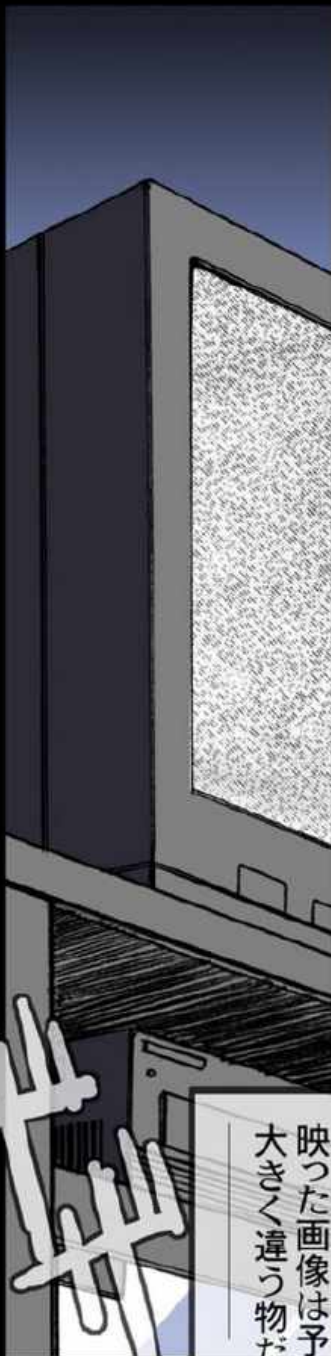
O B E D I E N C E

renewal all color SIDE-A
FOR ADULT ONLY

-Encounter-



唐突にオレの手元に
ビデオが送られてきた
差出人は「アルケー」
とかいう製薬会社
だった。



心当たりは、ないが
何故か送り返す気
になれなかった。
「一度くらい見ても
いいだろう」

そんな軽い気持ちで
ビデオをセットした。
しかし、次の瞬間
映った画像は予想と
大きく違う物だった



「……つて、なんだAVかよ。しかもコスプレ物？」
……正直、拍子抜けした。見る直前、嫌な予感が……見たら引き返せない。そんな気がしたんだが……

ま、また来たの……
しつこい子ね、君は。

だが、そんな疑念なども目の前に飛び込んできた肢体の前には、吹き飛んでしまった……
かなりの美人。だが、それ以上にこの女が放っている「淫靡な空気」は、今までに見てきた女の中でも、極上の「牝」を匂わせていたからだ。

ふふっ、
相変わらずだね
メグ。

「なんだ、このガキ？
滅茶苦茶な事言つて……
……まさか、こいつが相手するのかわ？」
信じられなかった。
こんなガキが、あの女の「メグ」の相手だとは……

これを撮った奴は、相当キレてるか、薬でもやつてるに違いない。そう思った。
しかし、それ以上に自分の中から、どす黒い情欲が湧きあがってくるのを感じていた……

ホントは、すごく待つてたくせに。どつて素直に言わないかなあ、
「どつか私のアナルを存分に犯し尽くして下さい」つて。

つて、なにを
考えてるんだオレは。
これは只のAVだろ。
ただ、ちょっと趣味が
悪いだけの……

にしても、このガキ
「いかにも手馴れてる」
つて顔してやがる。
どうしたら、こんな
!?

まあ、いいけどね。
どつせ、すぐにそんな
強がりには言えなく
なるだろうし。

なっ……!!
まって、それは
もう……

がらや

がらや

や、やめてっ!!
それだけは、もう許してっ
ホントにだめなのおつっ!!

いろいろ試してるけど
どうやら、メグは
これが一番お気に入り
みたいだから

……なんだアレ?
まさか……うお……
冗談だろ……
おいおいおいっ!
ウソだろ

ああっ……
だ、だめ。

ま、マンカよ?
涼しい顔してメチャ
エゲツない事しやがる
このガキ……一体!?



んんっ!
んっ……
んんっ……



ほーら、やつぱり
これが一番じゃん♪

んっ!
んおおおっ!

メゲだつて、
わかってたくせに

おっ♡
おっ♡



その証拠に



んひいっ!
んひいっ!

まだ触れてない方の
乳首が、おねだり
してるよ♪



くっくっくっ
くっくっくっ
くっくっくっ♡

んじゃ、もう一つのおっぱいにもプレゼント……っつ

ズクッ!

んっっ!!

んっっ♡

んっ

びびる

ぎゅっ
ぎゅっ

んあっ



こ、こんな事いつまで続けても無駄よ……
ぜっ……絶対後悔させてやるんだからっ!

ぢゅわん
ぢゅわん
ぢゅわん

……す、すげえ……
なんて顔しやがるんだよ。
もしかして、本気で感じているのか?……あんな物でだが、とても演技とは思えないほどメグの顔は羞恥にまみれていた……

はぁぁぁぁ……

ぢゅわん
ぢゅわん
ぢゅわん



はぁ……

さて、今日は何れくらい母乳を搾り出せるかな?
久々だから、結構絞れそうだね。

はい、はい。
抵抗してるフリは、いいからさっさと本音をぶちまけちゃって。

IR-IR



だ、誰がつ
んんんっ
っ!!

ふあっ、む、
胸、胸があ!!
あああっ!

さて、今日は
何分くらいで
いつちゃうのかな?
淫乱な
メグ姉ちゃん。

2分経過、
思ったより頑張るね
もうちよい強めに
してみようか。



あっ...
ああっ!?

んはあっ
ぞ...んっ...

うーん...そうだねえ
10分間耐えられたら
お家に帰してあげても
いいよ。どうせ、
無理だらうけど。

おやあり、そろそろ
限界って顔してるよ。
もう、イクの？
イっちゃうの？
まだ半分も経って
ないのになあ。

びっ
びっ
びっ
びっ



だっ…だれがイク
もんですかっ!

びっ
びっ
びっ
びっ

それは唐突だった。
メグの心の声が、俺の
頭の中に直接響いて
きたのだった。
赤裸々な本音の音が

どういう原理かは、
どうでもよかった。
ただ、メグの必死に
耐えてる本心しか
興味が無かったからだ。



んっ…耐えてっ
私の乳首…じゃ、
じゃないと



やっぱり外せない…
それどころか、さらに
強く吸いつけてっ…

いっ…いやあつ
ま、また…母乳
でちゃううっつ

あっ…



ひああああ♡

ビュッ

♡♡♡

ちゅっ♡

ビュッ



アハハッ、ごめん
痙攣してるよ。
また随分と派手に
いったね、メグ。

ひあつ！
あああつ

あああし…
はああし…

あああつ

ちゅるる

ちゅっ♡

じゃあ、そろそろい
本気でこくよ。
今日のノルマは
30回だからね。

はああつ
あああつ！

アアア



ほ、本気って...
30回って、まさか
これを30回も
続けるのかよ...

そんなの無理に
決まってるだろ...
いくらなんでも
壊れちゃうぞ。

大体、さつきイッた
ばかりじゃないか。
しかも、あんなに
激しく潮まで吹いて
失神寸前だったのに



はあっ
はあっ

あああ♡
あーあ

ああああつ
だだめえつ
らめええつ！

アツアツ

アツアツ

アツアツ♡

じゅるるる♡

メグの乳首つ
溶けるつ！
溶けちゃつらつらつ
つらつらつ！！

あつ！
あつ！！
アツアツ

ああつ、いやあつ！
これ以上吸つちゃあつ
おお、おっばいいうつ！
おっばい弾けるつ！
おおおおおつ！

あ、あ、また
おもしろちゃつたよ。
だらしないなあ
それでも魔法戦士
かい、メグ？

びゅんびゅん

ハアアツ
アハアツ

は……

んあつ

んあつ

びゅんびゅん
びゅんびゅん

あひあひ
アアアアツ
アアアアツ

あはっ

んあつ

んあつ

まあ、聞こえて
ないみたいだし。
ボクも忙しいから
そろそろ行くね。

心配しなくても、
ちやんと30回
イッたら戻つて
来てあげるから。



んあつ

んあつ

んあつ

じゃあね、
メグ。

そろそろ、次は
ちよつと趣向を変えて
苛めてあげるから
楽しみにしててね。

んあつ

いやあ
ああああ
あああつ!!

そこからは、メグの一人舞台だった。今までのが、只の前座であつたかのようによがり狂い始めた

ヒッ
フッ
ムッ
ハッ

クルル
あっ♡
あひっ♡

はああ♡
ああ♡
んん♡

とって！
これ、とってえ！

んん♡

いやっ♡
いやああ♡

んん♡
んん♡

必死になつて、膺を振り乳房を振りたくるも胸に吸い付いた、異形の鱗共は、剥がれるどころかより強く吸引し、メグの乳首を責め立てていった。

んん♡
んん♡

母乳を搾り取られる
たびに股間から愛液が
どつと溢れ出してくる。
まるで、乳首の感覚と
連動しているかのよう……

時折、我に返るのか、
必死に我慢して声を
押し殺そうとするメグ。
それは、女として……いや、
人としてのプライドが
かろうじて残っている
からか

……しかし、そんな些細な
抵抗は、この責めの前では
児戯に等しかった……。
そして、甥の奴は急に
その責め方を責め変えた。

余すところなく痴態をさらす
メグの姿は、さながら
一本の巨大な柱を利用しての
淫らなポールダンスの
ようだった。

えっ!? あっ♡なっ……
なにっ!? なんてこんなっ
やあっ……どうしてっ!?

それは、今までのように
力強く母乳を吸い出す
のではなく、ギリギリの
ところで寸止めし、メグを
焦らし始めた

メグは完全に二つの鋭敏な
乳首という器官によって
支配されてしまっていた……。
言葉も通じない下等生物に
懇願してしまうほどに

やああっ♡
せ……せつないのおっ
おっ、お願いいっ!!
早くなんとがしてえっ

はっ♡
はっ♡

いつ……いやあっ♡
どうしてっ、どうして
母乳出させてくれない
のおおおあっ!?

例えようが無いほどの
怒涛の快樂の波が
メグの双乳から
襲い掛かってきた

そして、一気に
解き放たれた、その先には

メグの頭の中が、ピンクの
ハレーション一色に染まり、
次々と押し寄せる
快樂の渦に攫われては、
戻される刺激の塊に
為すすべも無いまま……

いくら噴き出しても
止まることのない、母乳の
嵐に、メグの心が折れて
いくのが、はつきりと
わかっていった



とつくの首にメゲがイッた
回数は、30を越えていた。
しかし、あの方キは帰って
来なかった。メゲは、
一心不乱に腰を振り続けて
絶え間なくイキ続けていた。

脳が焼き切れるんじゃないかと思うほどの悦楽に
捕われながらも、乳首からの
容赦ない責めにより、失神する
事すら許されず昇り続けるメゲ。
その姿は今まで見た、どの女
よりも淫らで、はしたなかった。

そして、いつしかメゲの
足元には、彼女の汗と涙と
母乳と愛液と小便が
入り混じった恥蜜の水溜りが
拡がっていき、やがて
メゲは気を失った。

やあ、メグ。
昨日あげたボクの
プレゼントは、
気に入ったかい？

随分、派手に
鳴いてたよねえ。
どんな具合か、
ちよつと、お尻を
見せてくれよ。

ふっ…ふっ
…んんっ

ふふっ、よく
似合ってるよメグ。
その「音声入力」式の
バイブを一日中加え
こんで、すっかり
おとなしくなつたね。

そっそう、
あんまり大きな声出すと
バイブが止まらなくな
つちやうから、
我慢しなくちや。

あれから、何時間
経つたろうか…
俺は、この「メグ」と
呼ばれる女の痴態に
魅入られてしまっていた。
「俺の手で犯してやりたい」
そんな衝動さえ湧くほどに…

びびる…

びびる…

びびる…

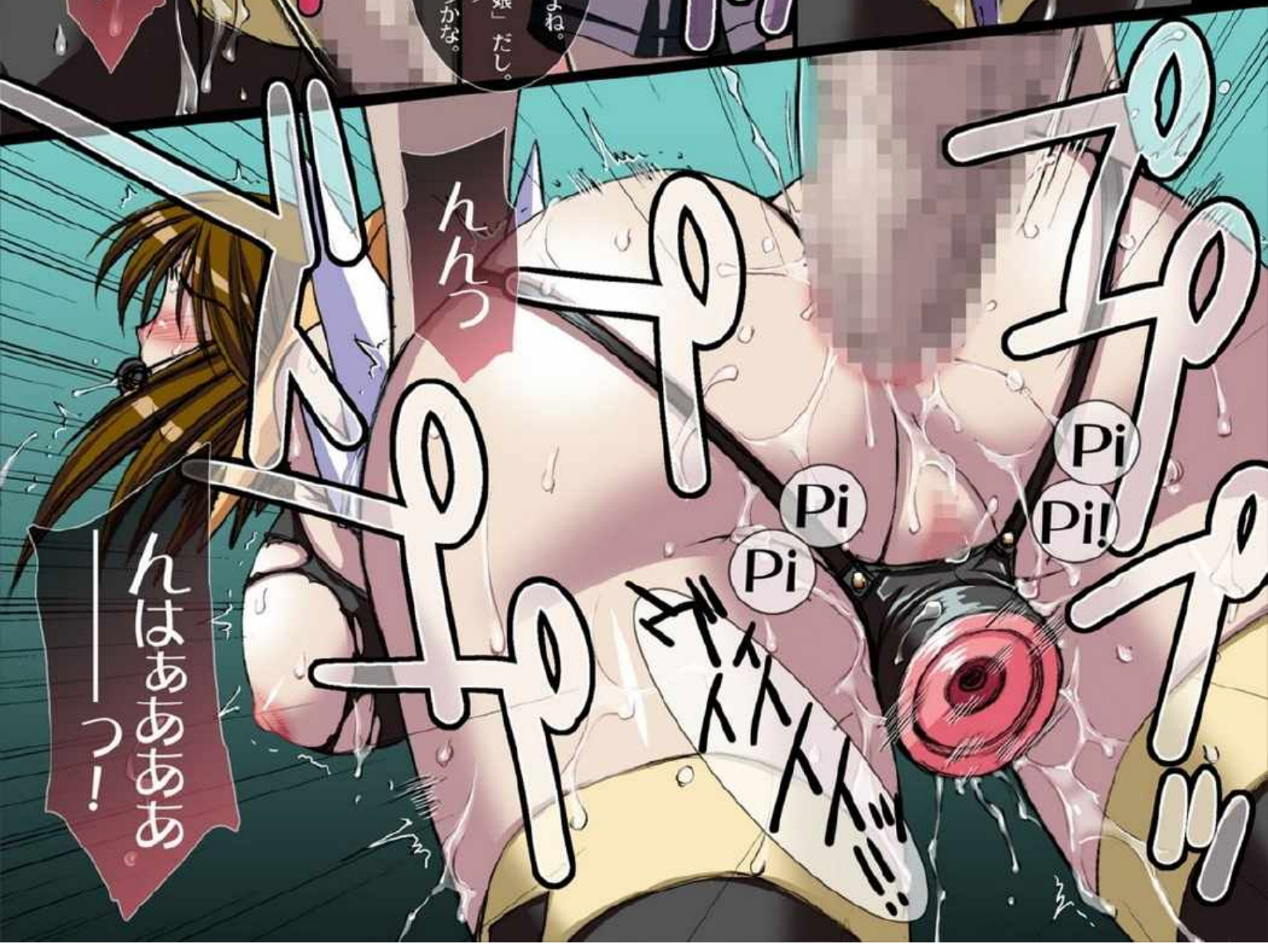


どれ、こっちの
方はどこかな？

おやおや、早く
コレが欲しいって
ヒクヒクしてるよ。

まあ、仕方ないよね。
なにせ、メクは
「アナル大好きっ娘」だし。
じゃあ、たっぷり
味わわせてもらっかな。

Pi!



Pi
Pi!

Pi
Pi

んはああああ
——っ!



んんんんっ……！
おっ！おっ！
んおおおおっ♡

んーいいね。
やっぱりメグのアナルは
最高だ。まだまだ、
入っていくよ。

んんん

んんん

んんん！
んんん！



じゃあ、始めようか
今日もメグの大好きな
ザーメンをたっぷり
注いで上げる。

だから……
いい声で
鳴きなよっ！！



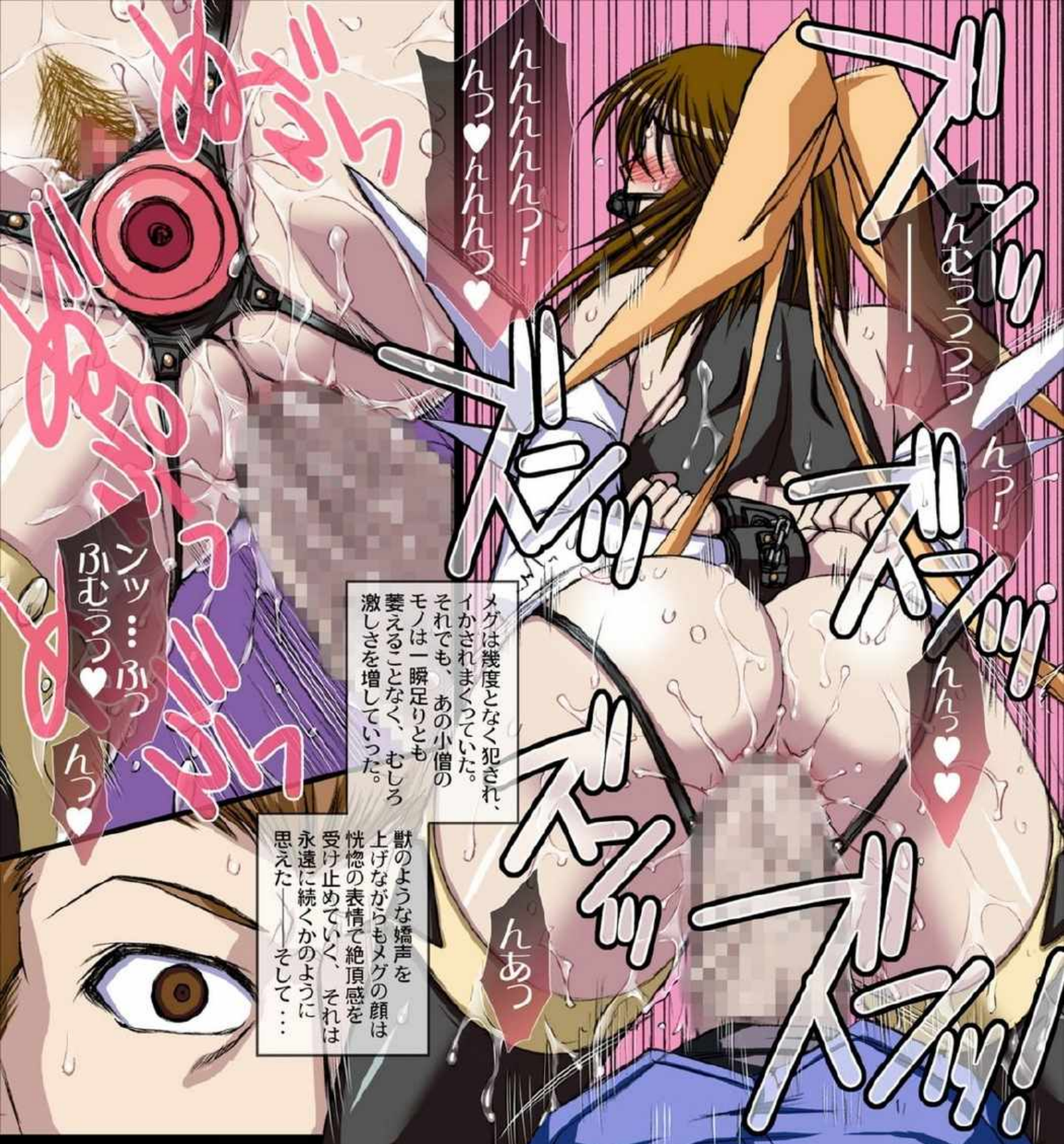
ふふっ、根元まで
ズッポリ啜え込ん
じやった。ホント
いやらしい尻穴だよね。



んはあああああ
あ——っ！！

んんん
あああ♡

あっ、あっ
あはあ♡



んんんんんんんん!
んんんんんんんん♡

んんんんんんんん

んん?

んんんん♡♡♡

んんん

メグは幾度となく犯され、イカされまくっていた。それでも、あの小僧のモノは一瞬足りとも萎えることなく、むしろ激しさを増していった。

獣のような嬌声を上げながらもメグの顔は恍惚の表情で絶頂感を受け止めていく、それは永遠に続くかのように思えた。そして…

んんんん♡
んんんん♡

ここ
アナルでも
いいよね♪

ボク、なんだか
急にオシッコしたく
なっちゃった。
ねえ、メグー

んんん
んんん
んんん

だって、スケベな
メグは精液たけじゃ
物足りないでしょ？

あははっ。
心配しなくても
わかってるって一滴も
残さずにふちまけて
あげる……よっ！

んんん♡
んんん♡

んんん
んんん
んんん
んんん
んんん
んんん
んんん
んんん

んんん
んんん
んんん
んんん
んんん

んんん
んんん
んんん
んんん
んんん
んんん
んんん

アハハハハッ！
まだまだ出るよー！
どう、うれい？
このままメグのお腹
いっぱいになるまで
注いであげるね。

んんん
んんん
んんん
んんん
んんん
んんん
んんん



あゝあ、また気絶しちやったよ。全く、だらしないなあ。ちよつと、起きなよ。ねえ、起きなつてば

起きろつて、言つてるだろ！
この牝豚っ！



びんびん...

ブルブル...

ブルブルブルブル...

ホント、いつまで経っても嫉がなつてないんだから、しょうがないから、今回は特別だ。

そろそろ、あいつ等にも「餌」を与えなきゃいけないしね。今日はもう、ボクの相手しなくてもいいよ...

その代わり... あとはあいつ等に可愛がつてもらおうといいさ。たっぷりとね。



ブルブルブルブル...

ぬほっ♡



おほっ♡

おっ♡

まっ、まって...
そんな強引に抜い
ちや...おひっ♡



ひああっ♡



やっ...やあっ♡
だめっ...
だめえっ♡

そっ♡ そんなに
いっぱいかきまわさ
ないでえええっ♡

びびっ♡

びびっ♡

びびっ♡

びびっ♡

びびっ♡



メ…メウ、こんなの
イカされたくないのにっ
ああっ♡だめっ♡
だめなのおおっ!!

はっ…はっ♡
やつ…、やあっ♡
またイクっ!?!
イカされちゃっ♡

はっ♡
はっ♡
はっ♡
はっ♡
はっ♡
はっ♡

はっ♡
はっ♡
はっ♡
はっ♡
はっ♡
はっ♡



はっ♡
はっ♡
はっ♡
はっ♡
はっ♡
はっ♡

はっ♡
はっ♡
はっ♡
はっ♡
はっ♡
はっ♡

ねえ、そこで
見る君？
君も参加しないかい？
今度、素晴らしい
イベントがあるんだ。

特典はこの
「牝奴隷」を好きに
していいって代物。
見るだけなんて
退屈だろう？

ひゃあああああつ♡♡♡
メ、メグのお〇んこつ♡
おま〇こつ…つをを！

んはあああつ♡
あつ♡あつ♡

なに、怖いことは
無いさ。君の欲望を
赴くまま開放してやる
だけでいいんだ…
じゃあ、待ってるよ。

そうだ…
行かないと…
俺は「仲間」に
なったのだから…
そして、思う存分
メグを蹴り尽くそう

アレは、オレの物だ。
他の奴を殺してでも
手に入れてやる。
俺の頭はもう、その事
だけでいっぱい
なっていた…

んはつ
こ、擦れてる♡
お尻…お尻があつ♡
んひいいいっ！！

ああつ♡



- あとがき -

どうもー、はじめましての方は、はじめまして。いつも読んで下さってる方は、ありがとうございます。B-RIVER です。

今回は初のフルカラー本に挑戦させてもらいました！
…いや、やると言ってたのは去年だったんですけどね (汗)
まあ、なんとか頑張って出す事ができました！！

しかし、リニューアルと言うわりには、昔の線画をそのまま使いまわしてたりするので、完全に新作というのでもないのでアシですが…；

まあ、それでも追加ページなんかもあったりするので、
ここはひとつ大目に見てやってもらえるとありがたいです；

ちなみに今回の元ネタは、知ってる人は知っている「魔法少女アイ」のメグ姉さまです。まあ、「3」に関しては、もう皆まで言うなと言わんばかりの出来でしたが、それでも、こっそりと作り直したりしないかなーと心の片隅で思ってる自分がいます。

では、次のイベントは夏コミ参加だと思っておりますので、
猛暑の有明にてお会いできることを楽しみにしております (w)

ではでは、今回はこの辺で～。

P.S 今回もアシしてくださった、アレグロさん
ホントに助かりました！
今回の本が出せたのはアレグロさんのおかげと言っても
いいくらい、手伝っていただきホントに感謝です！！




奥付
「OBEDIENCE
renewal all color SIDE-A」

発行 / H・B
印刷 / サンライズパブリケーション (株)
hb_river@yahoo.co.jp
HP>> <http://www.palette-e.com/>

初版 2011・5・1

本作品の無断転載厳禁(ネットを含む) 及び
未成年者の購読・閲覧を禁じます。



H-B